

第 57 回 全国ハイヤー・タクシー事業者大会 御挨拶

第 57 回全国ハイヤー・タクシー事業者大会の御盛会、誠におめでとうござ
います。

昨年の徳島大会に引き続き、懇親会にお招きいただき、ありがとうございます。

公明党ハイヤー・タクシー振興議員懇話会の会長を務めております、衆議院
議員の富田茂之です。

先般の第 48 回衆議院総選挙におきましては、全国各地にて公明党の候補者
に御支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆様の御支援に必ずお応えしてま
います。先ほどまで、太田昭宏・前国土交通大臣もこの会場におりまして、
皆様によろしくお伝え下さいとの事でありました。

先週、我が党のハイヤー・タクシー振興議員懇話会に、川鍋会長・坂本最高
顧問をはじめ、連合会の皆様にお越しいただき、平成 30 年度予算並びに税制
改正に関する御要望をいただきました。

特に、地域公共交通 確保維持改善事業費補助金（乗合タクシー、UDタク
シー等）及び、訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金（UDタク
シー）の継続・拡充・活用しやすい仕組みの導入は、大切な御指摘であり、
公明党としても必ず御要望にお応えしてまいります。

また、東京の 410 円のタクシー導入の効果についても御説明いただき、「ち
よいのり」需要の創出という成果を挙げられていることに敬意を表したいと思

います。

さらに、訪日外国人客相手の「中国式白タク」問題についても、現状・問題点について、全タク連の皆様と認識を共有することができました。関係省庁との連携を深め、問題解決に当たってまいります。

昨日の日本経済新聞の社説に「ライドシェア敵視は時代遅れ」との記事が掲載されました。「スマートフォン経由で簡単に車を呼べるライドシェアは、自国で使い慣れた海外からの訪日客にとっては、ごく当然のサービスだ」とか、「タクシー業界が今直面する最大の課題である運転手不足の解消につながる可能性もある」といった全く的外れの主張をしたうえ、「ライドシェアを敵視するばかりが能ではない。安全性をどう担保するかを含め、官民が知恵を出し合い、上手に活用するときだ」と結論づけています。

誰が仕掛けた社説なのか、知る由もありませんが、全く、事実に基づかない、このような主張を許してはなりません。

私は、8月にシリコンバレーを訪問した際、タクシー・ハイヤーが放逐され、ウーバーが席卷している状況を見てきました。私の通訳をしてくれた日本人女性は「ウーバーは危なくて絶対利用しない」と語っていました。

全タク連の皆様の様々な取り組みをしっかりと政治が後押しすることが大事だと思っています。これまで以上に連携を深めてまいりましょう！